

第3回名古屋城三の丸地区まちづくり構想有識者懇談会の議事要旨

○意見事項

「構想（案）の検討内容」

「構想策定後の進め方」

〈岩田委員〉

- ・現在のまちを再編することがあるのであれば、民間が参入するスペース或いは余地を確保することも1つの視点だと思う。
- ・今後の進め方については、やはり国や県、市など他の三の丸の地権者の方々も一緒になって進めていくことが大事だと思う。

〈浦田委員〉

- ・三の丸の特徴を出すには、三の丸としての価値、ブランド、イメージづくりなどにこれからしっかり取り組んでいくことが大事。官庁街だからこそその価値が何のかも一度整理することが大事。
- ・構想策定後も次のステップにいけるように、三の丸を検討や議論する場をつくり継続していくことが大事。

〈加藤委員〉

- ・リニアにより東京と名古屋が時間的に近くなることを、名古屋市としてどう受け止めるのか。名古屋は東京一極集中是正の受け皿になり得ることを明示すると良い。
- ・構想を作ったことを機に議論が活性化すれば、前倒しする姿勢・意欲を持って取り組むことを共有するために明示できないか。

〈鈴木委員〉

- ・三の丸のめざすまちがどのようなものなのかを没入感を持って体験できるような企画などを進めてもらえると良い。
- ・構想を作る段階から学生などの若者の意見を聞き、これから若者を巻き込むような仕掛けやアイデアをつくっていけるといい。

〈増田委員〉

- ・三の丸にはたくさんの要素が存在しており、それが一つの難しさでもあるが、その多様性こそが可能性で、様々な要素が多様な形でつながることで、レジリエンスが達成される。名古屋はまさにそれを実現できるところ。それを誰に対してどう伝えていくかが大事。
- ・官庁施設の老朽化が進んでいて一斉に更新時期を迎えることはとても象徴的。足並みをそろえて同じベクトルを向いてやれば非常に可能性がある希望と危機感を同時に持って進めてほしい。
- ・まちづくりの主体をみつけて、これからまちをひらいていくうえで、今は大事な時期という共通認識を持って、地域に動きを与えていくことが重要。

〈吉高委員〉

- ・東京では、十分なスペースを持った場所に人が集まることによって新しい経済を生むという考え方があり、三の丸も都市の余白をイメージするところだと思う。
- ・民間投資には海外からの投資も含まれることを考えると、今の規制を緩和することがまちにとって本当に良いことなのかも考えないといけない。